

藤棚新聞



第32号
発行
2013年10月20日
藤棚新聞

関東大震災から90年 あすの西区へ その1

日本の地震災害で最多の犠牲者を出した、1923年(大正12年)9月1日午前11時58分に発生した関東大震災は、マグニチュード7.9の巨大地震でした。震源地は相模湾から房総沖に及ぶ海底で、大きな余震が何回も続きました。



たくさんの建物が倒壊して、昼ごはんの支度で火を使っている家が多かったこともあって、火災が発生しました。折しも台風の接近中で、関東地方には強風が吹き荒れて、死者・行方不明者は全体で10万5千人余、横浜市だけでも2万6千人余が犠牲となりました。



稲荷台小学校は幸い焼けずにすみましたが、西前小学校は残念なことに全焼してしまったそうです(「いなりだい」創立80周年記念副読本、「にしまえ」創立100周年記念副読本)。



久保山墓地には、土が丸く盛られた「横浜市大震火災横死者合葬之墓」(写真左上)があります。また、地震が発生した日に、流言飛語が起きて無防備な朝鮮人や中国人を襲うという悲劇が起こりました。この時に亡くなった人々のための「関東大震災殉難朝鮮人慰霊之碑」(写真右上)があって、裏には「少年の日に目撃した一市民建之」と刻まれています。9月1日には、ここで慰霊祭がありました。



願成寺の入り口には藤棚一丁目角に残された延命地藏尊、岩亀横町焼跡の子育地藏尊(写真右)などが合祀されています。また羽沢稲荷に祀られている碑(写真左)には「馬頭観世音菩薩」為震災焼死及殉職馬匹紀念とあります。



できることから準備<防災訓練>



9月1日には稲荷台小学校で第三地区の防災訓練が実施されました(写真左)。大災害を想定し、復興しやすい環境を前もって整備しておく「事前復興」という考え方も出てきました。想像力を働かせて、地震が起きたときには周囲では何が起きるかを知り、そのときにはまず自分の身を守る動作をしましょう。情報を知って冷静な行動を取ることができるように携帯ラジオなどを用意したり、ご近所の方と言葉を交わしあっておくことが大切です。家庭でも地震がおきたときのことを話合っておくと安心ですね。

この町、この人 小学生野球を率いて40年



今年で創部40周年になる、小学生野球の戸部タイガースを率いる高橋義彦さん取材しました。一期生の教え子はもう52歳になるそうです。251名になる卒団生にとって、40年間チーム名もユニフォームも変わらないのはとてもうれしいと言います。過去にY校生として甲子園に出場した方が1名と、新潟のノンプロに入った方が1名いるそうです。ただ、高橋さんにとっては「野球の技術向上よりも、まずは立派な社会人として育てて欲しい」との気持ち強いようです。いろんな雑用も率先して行う方と聞いていましたが、

伺った時は用具倉庫の棚を改良中でした。

ところで高橋さんにはもう一つの顔があります。創部12年になる戸部小女子ミニバスケット部も率いていることです。本人はバスケットの経験は全くなく、生徒さんの保護者に協力してもらって創部にこぎつけたとの事です。そのいきさつとして「お父さん、お母さんが働く共稼ぎ家庭で、男の子が運動に励んでいるのに、女の子がただ遊んでいるのはもったいない、何か運動して欲しい」という思いがその理由だったようです。

小学校の体育館の窓ガラスに野球のボールが当たってよく割れるので、高橋さんと仲間と自腹を切って32枚を強化ガラスに張り変えました。街の頼もしい世話人です。(F)

第3地区 第4回 福祉フェスタ



恒例になった第4回福祉フェスタが、「生活 創造 空間 にし」で10月5日に開かれました。和太鼓やピアノ演奏などの他、近隣区のゆるキャラが集めた抽選会(写真左)では会場が盛り上がりました。



屋上には、椅子と机が置かれて、花や野菜も栽培できる花壇がめぐらされて、地域にも貸出を検討しているそうです。

活動者の発表・PRに便利！

にしく市民活動支援センター

ひろびろとしたスペースに移転、拡充してオープン



西区役所の4階で市民活動のサポートをしてきた、にしく市民活動支援センターが、今月1日に区役所そばの大向ビルに移転しました。従来にくらべてスペースはずっと広く、いろいろなサービスの向上を図って、装いもあらたにオープン！

なかでも、登録団体や生涯学習ボランティア「西区街の名人・達人」登録者の作品や活動紹介パネルを来場者に見てもらう「みてみてPRコーナー」では、約1ヶ月の間、ガラスキャビネットに展示・PRできます。



さらに毎月、センター指定の5日間を「わくわくPR週間」として、みてみてPRコーナーミーティングスペースを貸し出します。展示やワークショップに、アイデア次第で楽しいPRができそう。どちらも参加費用は無料です。詳しい応募条件などは、にしく市民活動支援センターまで。電話/FAX：045(620)6624 Eメール：ni-shiencenter@star.ocn.ne.jp ホームページ：<http://www.city.yokohama.lg.jp/nishi/life/shimin/>

こんにちは、ぐるーぷ！ スコティッシュダンス



踊ってもいないのにホールが熱くなるのがわかります。読者の皆さんはスコテッシュカントリーダンスという踊りをご存知ですか？アコーディオン、バグパイプの音楽にあわせ6人もしくは8人のグループを組んでステップを踏みながら、隊形を変えていくスコットランドの踊りです。指導しているのは RSCDS（エリザベス女王が名誉総裁）公認の教師の梶野さんです。元気で明るいアドバイスがホールに響きます。

ウォーミングアップは踊りながら行っていました。そして踊る前後は必ずかわいらしいしぐさの挨拶をします。リズムの異なるジグ、リール、ストラスベイという踊りを見せてもらいました。足元に注目すると皆さん、つま先着地です。身体への刺激もありそうですが、とても軽やかに見えます。男性はキルトを、女性はタータンという服を着用します。

グループ名、ローワンベリーを発足して10年、メルパルクのホールで行う12月18日のクリスマスパーティーでの踊りを、皆さん楽しみにしているそうです。練習場所：稲荷台小コミュニティ研修室 木曜日 詳しくは桑畑さん 242-2269 (F)

横浜野菜とれたて産直市 & MEGALOPOLIS ど LIVE

藤棚1番街では、『「地元のとれたて野菜と優しい音楽」を楽しむ日曜日がやってきます！』のキャッチフレーズで、9月29日に商店街の歩行者天国いっばいに産直市とライブを開催しました。

つぎつぎにお客さんがくる新鮮な野菜がならんだやさい市のそばでは、ミュージシャンたちが声量のあるはつらつとした歌を聞かせてくれて観客の拍手を浴びました。



巨大わなげ(写真下)のほかにも、射的や藤棚ゴルフ場で子どもたちが活躍。



保土ヶ谷宿場まつり 10月13~14日

ふるさとの香りがする名称に惹かれてちょっと訪問。保土ヶ谷駅西口商店街などで。保土ヶ谷今昔写真展もありました。



このイベントは、横浜市商店街総連合会の主催で、横浜市16区18商店街で同時開催されました。

「つながりの輪」こんなサービスあったらいいな

戸部 布川 滉

意見



「買った商品を自宅にお届け」の宅配サービスは個人商店やスーパー、コンビニですでお馴染みになっています。さらに商店街を中心に人と人が交流できるサービスがあったらいいなと思います。そこで宅配サービスや買い物代行を、地域の人と人のつながりがさらに強く結ばれるように、障碍(知的)をもった方(20代~40代)にも一役買っていただけたらどうでしょう。

商店は宅配注文があることを事業所にメールや電話で連絡。
宅配員(障碍者)は商店を訪れ商品を受け取る。
事業所に集めて広報や情報誌などを一緒に添えて届ける。
宅配員は障害の特性に応じて、道路に詳しい人などと二人一組で訪問する。



お客様の買った商品は、商店 活動事業所 障碍者 お客様の順で集められ、宅配されてつながりの輪がひろがります。二か所以上の店でのお買い物も一括してお客様に届きます。高齢の方は若い世代の宅配員と、子育て中のご両親やお子さんにとっては幼い時から障碍者との絆ができます。また活動事業所はカフェテリアなどとして、集客につながります。

健民祭

10月13日



第三地区
稲荷台小学校
“鈴割”

第二地区
西前
小学校
“ふれあい競争”



投句 当季雑詠で一人2句まで、氏名、連絡先を記載して。次回締切は十一月二十日。
FAX : 045-895-0081
Eメール: fujidananp@m.jcnet.jp

巻頭句には粗品を呈呈。

白桃の果肉は白色。手に取っての品定めが禁じられていた果物だ。買って帰ると、底部にかすかな

圧痕がある。残念な気持ちになったのだ。
* 投句 当季雑詠で一人2句まで、氏名、連絡先を記載して。次回締切は十一月二十日。

《寸評》

白桃の己が重みに傷つきし 見るからに荒地育ちのさつまいも 土産にと庭の茗荷を摘みており 朝顔の藍の滴り宙を見る 秋澄めり鏡に写る空の碧 み仏も日陰におわす秋彼岸 母からのぶどうの宅配途切れたり	今吉正枝 小野元夫 荒川文字 近藤廣子 神代涼子 太田富子 雨宮則子
--	--

藤棚俳壇 選者 三村 風彦

自家製酵母のずっしりパン / 下町にちょっとスパイシーな服

パンと服。

アデリースタジオ+つ。
10:00-19:00 火曜は17:00まで 水曜定休
“赤門” 東福寺の向かいにあるお店です。
最寄りのバス停は初音町 <http://adelie.jp/>
中区赤門町1-8 tel.090-2419-7939

自然食品の店 菜月

移転しました!
無添加の安心・安全な食品
お取り寄せ・配達も承ります
営業日: 月~土: 12:00~19:00
定休日: 日曜日
TEL: 045-261-1052 住所: 久保町 17-2
<http://saigetsu.org>